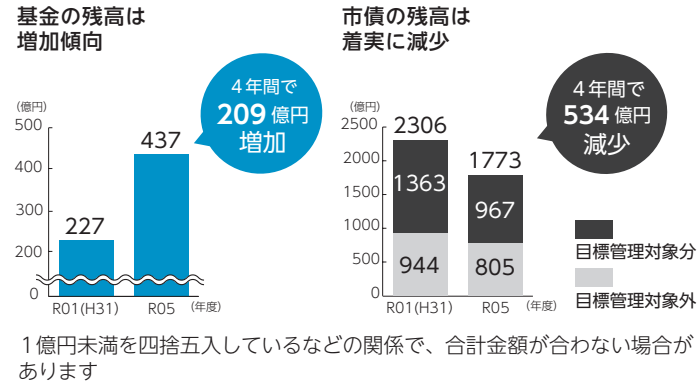


■ 基金(貯金)と市債(借金)の残高

市の貯金に当たる基金の残高は増加傾向にあります。
また、市の借金に当たる市債のうち目標管理対象分※については、市債の計画的な発行や早期償還の取り組みなどにより着実に減少しています。
※市債残高から、臨時財政対策債や災害復旧債などの基本的に発行することが前提となるものを除いた分



■ 市有財産などの状況

令和 6 年 3 月 31 日現在、本市が所有している財産や一時借入金などの状況は表の通り。

債権	重要物品	出資金	有価証券	土地
36億4076万円	88億5308万円	138億2621万円	360万円	385万3769.00㎡
建物	地上権など	商標権	一時借入金（一般会計）	一時借入金（特別会計）
174万5004.60㎡	2855.37㎡	8件	なし	なし

令和 5（2023）年度
一般会計の決算状況など

歳入総額 2272億3600万円から歳出総額 2241億8800万円と翌年度に繰り越す事業のためのお金 7 億4000万円を除くと、差し引きは 23億800 万円の黒字となりました（令和 6（2024）年度に返還が必要となる国庫支出金など 3 億

■ 一般会計の収支について

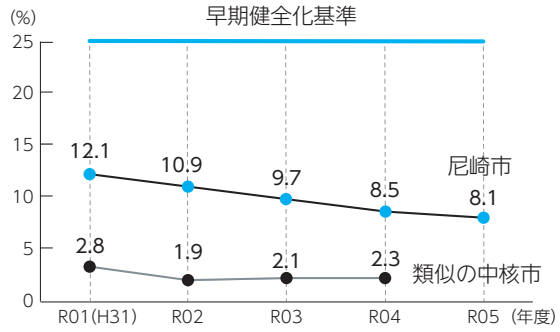
歳入	2272億3600万円（前年度比1000万円減↓） うち、下半期：1279億4900万円 市民1人当たりの年間収入額は50万1000円
市税	833億4600万円(0.9%増↑) 36.7% うち、下半期:344億3600万円 市民税や固定資産税、軽自動車税など
国庫支出金	615億7900万円(3.3%減↓) 27.1% うち、下半期:408億4100万円 個別の事業ごとに、国から交付されるお金
地方交付税	167億9000万円(7.2%増↑) 7.4% うち、下半期:52億600万円 市の財政力に応じて、国から交付されるお金
県支出金	151億9500万円(1.8%増↑) 6.7% うち、下半期:142億4700万円 個別の事業ごとに、兵庫県から交付されるお金
地方譲与税など	148億8400万円(1.6%増↑) 6.6% うち、下半期:73億4500万円 地方譲与税、地方消費税交付金など
市債	64億6900万円(10.2%減↓) 2.8% うち、下半期:64億1900万円 公共施設の建設時などに借入るお金
その他	289億7200万円(1.5%増↑) 12.7% うち、下半期:194億5500万円 市有施設の使用料、ポートレースからの収入など

100万円未満を四捨五入している関係で、合計金額が合わない場合があります。カッコ内は前年度比。市民1人当たりの収入・支出額は令和 6 年 4 月 1 日現在の推計人口 (45万3811人) で算出した概算

■ 本市全体の財政状況指数

令和 5（2023）年度の決算における健全化判断比率を算出すると、実質公債費比率は 8.1％、将来負担比率は 2.8％で着実に改善しています。本市はいずれの指標も早期財政

実質公債費比率（借金返済額の程度を示す指標）



5000万円を含む）。

今後も規律ある財政運営を行っていくことで、将来にわたって持続可能な財政運営を実現していきます。

歳出	2241億8800万円（前年度比2200万円減↓） うち、下半期：1412億1600万円 市民1人当たりの年間支出額は49万4000円
民生費	1192億9600万円(5.6%増↑) 53.2% うち、下半期:734億6800万円 高齢者・障害者(児)・子ども子育て支援や生活保護など
総務費	235億8700万円(7.2%減↓) 10.5% うち、下半期:185億100万円 市行政全般の管理事務や徴税、戸籍事務など
公債費	233億7500万円(1.4%減↓) 10.4% うち、下半期:125億6400万円 市が借入たお金の返済金
教育費	173億5100万円(6.7%減↓) 7.7% うち、下半期:107億9200万円 学校の運営・施設整備や、図書館の運営など
衛生費	157億4900万円(16.8%減↓) 7.0% うち、下半期:95億8700万円 保健所の運営、ごみ収集・処理など
土木費	150億2100万円(7.6%減↓) 6.7% うち、下半期:95億600万円 道路や公園の整備・維持管理など
その他	98億 900万円(17.1%増↑) 4.5% うち、下半期:67億9800万円 産業振興や消防など

健全化基準を下回りましたが、類似の中核市の平均値と比較すると高い状況にあります。

将来負担比率（将来に見込まれる負担の程度を示す指標）

